

伊賀市長 岡本 栄

近年、地方の市町村は人口減少や高齢化により地域づくりの担い手が不足するという課題に直面しています。

そこで、地域の外に住んでいる人たちにふるさとを応援してもらい取り組みが注目されています。

そのような中、伊賀市を応援してくれている、伊賀市出身の俳優の椎名桔平さんと岡本市長との対談が実現しました。

今回はその模様をお届けします。

伊賀といえば忍者

市長 桔平さん、お帰りなさい。

椎名 ただいまです。

市長 伊賀を離れて、東京で頑張ってもらって何年が経ちますか？

椎名 ふるさとを離れて37年くらいですね。

市長 そつですか。37年って、ものすごく思いが詰まっている時間ですよ。色んなことがあったでしょうし。

椎名 そつですね。

市長 東京で仕事をしていたら、「出身、伊賀です。」って言うことはやっぱりありますか？

椎名 あります。よく聞かれますね。

市長 そのときは、何て答えるんですか？

椎名 「三重です。」って言って、「三重のどちらですか？」って聞かれたら、「伊賀ですよ。」って答えます。「忍者のまち、知ってる？」って聞いたら、「ああ、そうか。伊賀だから忍者なんだ。」って。やっぱり、「伊賀＝忍者」ってというのが全国ですごく浸透していますね。

市長 今、桔平さんは現代もののドラマに出演しているらしいんですけど、時代劇っていうのは、どうなんですか？

椎名 時代劇はねえ。いくつかやらせていただいたんですが……

市長 忍者役の実験は無いですか？

椎名 一回だけありますよ。ちょっと妖術使いたいな忍者の映画があります。それを伊賀で開催された忍者映画祭で上映していたかと思うんですけど。

市長 そつでしたか。



特別対談

俳優

椎名 桔平



椎名 でも、ちゃんとしたと言いますか、本格的な忍者というのはありません。

市長 ぜひ、また、機会があれば忍者の頭領をやってくださいよ。

椎名 ははは(笑)。そうですよね。

ふと思いつく伊賀の良さ

市長 長く東京で暮らしているけど、伊賀のことを思い出すことってありますか？

椎名 ものすごく印象的なエピソード

ドがありましてね。若いときは必死で、何とか東京で根付かなあかん、この職業で食べていかないとけない。そういう思いで、田舎のことをちょっと忘れるんですね。

市長 田舎を思い出す暇がないですよね。

椎名 そうです。まだ両親も若いし元気じゃないですか。両親も「もう田舎のことは考えやんと、あんな、そっちで頑張つて。」ってそんな感じだったので。

市長 そうだったんですね。

椎名 はい。ただ、NHKで、もう

お亡くなりになったんですけど上野高校から京都大学に行かれたあのディレクターの先輩とお会いする機会があります。

市長 伊賀の人ですね。

椎名 はい。一度、ご飯を食べましようって呼ばれて、その時に「桔平君は伊賀には帰ってるの?」と言われてまして。「今は分からないと思うけど、この先、いつか望郷の念というものに駆られるときが来るから。」って言われていたことを、最近、思い出すんですよ。

市長 で、最近それが。



椎名 ありますね。きつかけは、親
だったりもしますけど。

市長 そうですよ。人間って、一
生懸命頑張っていたら、それなり
に自分の位置ができてくると同時
に、「頑張りや」と言ってくれ
ていた親の世代が、だんだん歳を
とってきますからね。そうすると、
くるっとふるさとを向いてみた
くるときがやって来ますから。

どうですか？くるっと振り向い
てみて、生まれ育った伊賀の印
象って？

椎名 いやあ、良いまちなあって
思いますね。何か、昔とは景色の
見えかたが変わってきますね。

市長 でも、やっぱりふるさとって、

外へ出てみると、いいところっ
て分からないですよ。

椎名 分からないかもしれませんが、
灯台下暗しといえますかね。

1つのことを頑張り続ける

市長 今、伊賀市では、若い人た
ちに集ってもらって、伊賀をなん
とかしようっていう、「IGAB
T O育成」っていう取り組みをやっ
ていて。

だから、桔平さんみたいに東京
に出て頑張っている人たちから、
若い人たちにメッセージをもらえ
たらありがたいのですが。どうで
すか？

椎名 若い人たちにですよ。こ
れから僕も、そういうことをちゃ
んとお伝えできるようになってい
かなあかんよなあと思っっている
ですけど（苦笑）。

僕、食えないときに、ずーっと
思っていたのが、オノヨーコさん
の「10年1つ」のことを一生懸命やっ
たら、神様が「褒美をくれる。」っ
ていうフレーズだったんですよ。
20代のとき、「10年、わき目を振
らずに、この役者の道を頑張ろう。」
というふうに思っただけです。

市長 若い人たち、ここ大事ですよ。
「10年頑張ると。そうしたら、神様
が褒美をくれる。」と。

椎名 そうです。私の言葉じゃない
ですけどね。

市長 いや、だけど、本当にそれで
すよね。自分がやりたいことをしっ
かりやっていったら、結果は必ず
とついてくるものだから。

椎名 そういことですよ。

市長 だから、周りの人が評価して
くれるのも、その人が一生懸命やっ
てるから評価してくれるのであ
つてね。何もしないうちから「俺を
評価しろ。」って言っても、それは
無理ですよ。

つながりの大切さ

市長 今、伊賀市は京都府の南山
村、笠置町、それから奈良県の山
添村の3府県にまたがって広域行
政をやっている。自然な生活の工
リアで弱みをカバーし合い、強み
を持ち寄るっていうやり方なん
ですけど。人と人もそういう関係で
すよね。

椎名 そうですね。

こんな取り組みを進めています！

◆伊賀上野NINJAフェスタ

in 上野恩賜公園

市では首都圏での観光物産PR
のために、東京の上野恩賜公園で
も伊賀上野NINJAフェスタを
開催しています。

このイベントを通して、首都圏
の人たちに伊賀の魅力を知って
もらい、多くの人に伊賀市に
来てもらうきっかけとなるように
開催しています。

今年「伊賀を知り、伊賀を体
験し、伊賀を思い出す」1週間
となるように、「IGANINJA
WEEK in TOKYO」と題し
て、東京都内各所で伊賀にまつ
わるイベントコンテンツを集
約的に開催し、関係人口の創出
にも努めました。





俳優
しいな きっぺい
椎名 桔平

出身地：三重県伊賀市
生年月日：1964年7月14日
県立上野高等学校卒業
東京都の大学へ進学後、俳優を志す。
幅広い役柄をこなす俳優として、現在は多数のドラマなどに出演し活躍している。

市長 だから、いつになってもそういうつながりは大事ですよ。

椎名 パーツと相性のいい人間と知り合って、ワイワイ楽しいなという時期もありますけど、結局、信頼関係っていうのは、時間の長さに関係あるなと思いますね。

市長 長く付き合っていていうことは、そういう信頼関係が自ずとできていくし、困ったときには助け合える。やっぱり、最終的には、人と人のつながりって大事ですよ。

椎名 いやあ、それしかないんじゃないですかね。

市長 あと、ふるさとのつながりと。この2つかもしれませんね。

椎名 そうですね。だから、ふるさとがあつて良かったなって、日増

しに思いますよ。

東京出身の俳優さんとかも多いわけで、ちょっと田舎に帰るっていうときに、「君は、どちら？」って言ったたら、「都内です。」ってね。そういうときに「ああ、三重県のそういう田舎があつて羨ましいです。」ってよく言われるんですよ。

あと、京都とか大阪とか、そういう大きな街。若いときは、「便利やな、新幹線停まるし。」って東京から思いましたけど、やっぱり今、のどかな自然に囲まれたまちに行くことが少ないので。

市長 これが一番の贅沢かもしれないですね。

椎名 そうですね。

市長 また、東京に帰ったら、「伊賀ええとこやで。」って言うってください。

椎名 分かりました。

市長 また、ぜひ、気軽に帰ってきて声かけてください。みんなでお帰りなさい。」って言いますから。

椎名 ありがとうございます。



◆IGABITO育成

将来的に伊賀市に定住・Uターンをしたいと思う人の増加と、より良い伊賀を創る意識と実行力を持った若者の育成のために取り組んでいます。

これまでに伊賀市若者会議、上高みらい学「地域プロデュース」、地域産品を活用した伊賀のお土産や美容関連商品の企画・開発を市内の高校生や市にゆかりのある若者とともに進めてきました。

これらの取り組みにより、自らが地域の担い手となり、より良い伊賀市を創る意欲と実行力を持った若者を育てていきます。

